



HP



南千住 レポート

まちづくり・
くらしの情報を
とどけます

相馬ゆうこ事務所

荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX 3807-4192

区議団控え室（荒川区役所内）

☎ 3802-4627

FAX 3806-9246

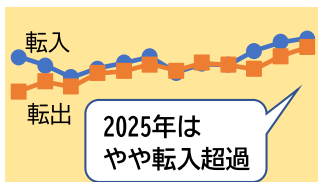
✉ arajcp@tcn-catv.ne.jp

araken-nan.jugem.jp

住宅費増、くらし圧迫で～転出が増加

東京都の人口は1400万人を超え、転入超過により人口集中が続いていますが、転出と転入の差は徐々に縮まっています。2025年は転入超過が約6.5万人に、前年より1.4万人減少です。

荒川区の転出入は…



2014

2025

転入超過

20代のみ

荒川区は転入17,612人（24年比+297）・転出16,927人（同+714）で、区内人口の約1.7万人が入れ替わり、685人の転入超過に。ただし進学・就職による20代の転入超過以外、すべての年代が転出超過です（右表）。

30代では「30～34歳」は転出入がほぼ同数に、「35～40歳」は「転入は前年より減少・転出は前年より増加」です。企業都合の移動が多いようですが、45～59歳も同様に現役世代が転出超過の傾向にあります（左表）。

	転入		転出	
	2024年	2025年	2024年	2025年
30～34歳	2,780	2,881	2,725	2,877
35～39歳	1,421	1,385	1,474	1,545
40～44歳	819	864	860	912
45～49歳	603	513	618	653
50～54歳	533	449	548	653
55～59歳	374	328	422	582



【2025年の転出入・年代別】

	転入	転出	増減
9歳以下	612	867	-255
10代	705	711	-6
20代	9,061	7,127	1,934
30代	4,266	4,422	-156
40代	1,377	1,565	-188
50代	777	1,009	-232
60代	409	527	-118
70代	226	371	-145
80代	138	258	-120
90歳以上	40	70	-30
計	17,612	16,927	685

一極集中の見直し、
農業・地方経済と両立を

大学や企業を求め20代で東京に転入し、その後、子育て環境の期待などで、とくに女性は東京に定着する割合が高いようです。しかし、物価・住宅費の高騰などで区外・都外へ転出せざるをえない状況が年々深刻化。また、区内では特養ホームや介護住宅などが不足し、80歳以上の方の転出も300人を超えています。

東京一極集中と再開発のまちづくりを見直し、家賃補助や公的住宅の増設、特養ホームの充実など最後まで住み続けられる荒川区づくりに全力をあげたい。同時に、食料・エネルギーの自給を基本に、農業・地方経済の活性化と教育環境の整備こそ必要です。





くらし・営業守る緊急要望書を提出

5月29日(金)、日本共産党区議団は滝口区長あてに、区民のくらしと営業を守る「緊急要望書」を提出しました。

中小事業者から不安の声 区議団は4月以降、区民アンケートの実施とともに、物価高騰と資材不足のなかで小売店、介護・医療事業者、建設業団体などのみなさんと懇談、実態調査を実施。区内の



中小・零細事業者の多くのみなさんから「経営の見通しが立てられない」など深刻な声が寄せられています。



緊急要望を提出する共産党区議団

クリーニング店「灯油やビニールも値上がりしたが価格に転嫁できず経営が大変」／豆腐店「容器入荷のめどが立たず、給食などへの納品はできるが一般消費者への販売が難しくなる」／薬局「軟膏を入れる容器の仕入れができない」／建設業「大企業は資材があるようだが一人親方、小規模の会社は厳しい状況」「価格高騰もあって見積もりが出せない、コロナ禍より苦しい」など…

【共産党区議団の要望書】

- 区独自のゼロゼロ（無利子・無担保）融資を
- 中小事業者をはじめ物価高騰や資材不足の影響を受けている事業者に対し、固定費や燃料費への直接支援を
- 低所得者へ電気代の補助を
- 国に対し戦争終結の外交交渉と、持続化給付金などの支援、ゼロゼロ融資の返済猶予の再延長などを求めること

など

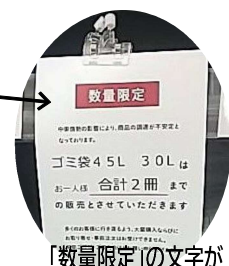
また、紙のお買い物券の販売前倒し、奨学金返済支援、ひとり親などの家賃助成、若者へのお風呂券支給なども提案しています。みなさんの声お寄せください。

いよいよごみ袋も…

指定ごみ袋の不足が話題ですが、通常のごみ袋も不足に？一部の量販店でも数量制限の実施まで。



空っぽになった棚



「数量限定」の文字が

〈法律・生活相談〉 6月の定例法律相談日は 11日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は毎月第2木曜18時から。平日の昼間に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前と電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6・2階 ☎ 3807-4192

「選択的夫婦別姓」求める陳情が 不採択に

荒川区議会として国に対し「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書」の提出を求める陳情が、本会議で「不採択」に。

日本共産党、公明党、立憲民主党は「採択」を主張しましたが、自民党、維新、ゆいの会（都民ファ、国民、あたらしい党、無所属）が「不採択」として、採決の結果「不採択」となりました。



自民党はこれまでも予算委員会などで選択的夫婦別姓制度の導入について「立ち止まって考えるべき」としており、今回も「旧姓の通称使用の拡大により、改善を図る」と政府方針そのまの意見に。

採択	共産党	5名	} 13名	➡ 「不採択」に
	公明党	6名		
	立憲民主党	2名		
不採択	自民党	10名	} 16名	
	ゆいの会	6名		

区民の中にも夫婦同姓を希望する方、姓を変えることに抵抗があり結婚をためらう方、改姓を強要したくない方もいます。改姓は96%が女性で、女性の人権も問題でもあり、区議会として多様な区民の声を国に届けることが大切です。

全国で591件 全国では591件の意見書が提出されており（2026年4月1日時点）、荒川区議会で陳情を採択・意見書提出できなかったことは本当に残念。夫婦別姓で「家族の一体感がなくなるのでは」との心配の声もありますが、同性を望む方は同性を選択することができます。また、「一体感」の形式的な強制は個々の関係が壊される危険もあります。



（しんぶん赤旗より）

多様な家族保障する社会に 区が男女共同参画社会推進計画で掲げる「誰もがかけがえのない存在として人権が尊重され、自由で多様な生き方を選択できる社会」の実現が大切です。労働時間短縮で家族や個人の時間の確保と、選択的夫婦別姓制度をはじめ家父長的なかたちにとられず多様な家族のあり方が大切にされる社会をつくりたい。



サクラの老朽化…保育園はだいじょうぶ？



5/付の幼稚園・小中学校のサクラの記事を読んで「保育園はどうなってる？」とご質問が。園庭がない園も多いですが、区立園など確かにサクラを見かけます。保育課に確認したところ、2024年度15本ありましたが、樹木診断を実施し2本伐採。今年度、さらに4本伐採予定とのこと。安全第一ですがサクラがなくなるのはやっぱり残念です。

サクラの伐採がすすむ中、最近は園庭の日陰確保にシェードの活用がすすんでいます。暑い夏も子どもたちが外遊びできるよう区の支援を。



園庭にシェードを設置

プレミアム率 30% 「デジタルお買い物券」15日から申込み開始

5/24付レポートでお知らせした「プレミアム付きデジタルお買い物券」の抽せん申込みが始まります。紙のプレミアム付きお買い物券の販売は11月です。

申込みは 申込みはPayPay（ペイペイ）
ペイペイに アプリで、1口5,000円で6,500円分（プレミアム率30%）・最大6口

（3万円）まで購入可能。申込み



にはアプリ上の本人確認が必須で、

運転免許証やマイナンバーカードなど顔写真付きの証明書が必要です。



【第一次販売】抽せん・区民のみ

申込期間：6月15日(月)～7月14日(火)

当選発表：7月15日(水)夕方以降にメールでお知らせ

販売口数：43,200口（ひとり6口購入で7,200人分）

【第二次販売】先着順・区外の方も可

申込：9月7日(月)12時から

販売口数：4,800口（あれば一次販売の残り分を追加）

※注意

一次・二次とも、
お買い物券の利用
期間は来年
1月10日(日)
までです



取扱い店舗にはポスターやステッカーなどを掲示、PayPayアプリから検索もできます。PayPay未導入の店舗等への説明会は6月15日からで、登録店舗数は順次ふえる見込みとのこと。区内店舗では2022年時点で導入率3～4割とされていましたが、今回はどのくらいになるのでしょうか。

【問合せ】PayPay商品券専用サポート窓口 ☎ 0120-925-510（9～18時）

詳細は区商連のHPで→



紙のお買い物券販売も早く

PayPay(株)は7月1日(水)・5日

(金)などに、サンパール荒川5階で登録・購入の説明会を行います。企業側にもこの機会に利用者拡大につなげるメリットがありそうです。デジタル化は「平日の昼間の販売でなかなか買えない」という声に応えたかたちですが、区としては情報格差への対策や他キャッシュレス事業者との公平性も求められます。引き続き、決済手数料や現金化の時期の課題も。



物価高騰対策として、印刷の都合もありますが、紙のお買い物券の販売前倒しも検討してほしい。

ご意見・ご質問頂きました

○「高齢者や子ども向けの予算だけでなく、独身で税金を払い続けている単身者にも何か光を当てて欲しい気がする…」単身者への支援は課題です○「帯状疱疹になって、とにかく痛くて痛くてがまんできない日々がつづきました。やはりワクチンを接種しておけばよかった」65・70・75・80…100歳と、5歳刻みで定期接種の予診票が毎年5月以降に発送されます。費用負担が必要ですが、痛みにかえられないかもしれません。ご検討ください。

